

# my roger story #8

補聴器だけでは聞き取りの難しい場所で、より快適な聞こえをワイヤレスでサポートする補聴援助システム「ロジャー」。今回の my roger story では、耳かけ型補聴器と「ロジャー ペン」を使用されている方の体験談をご紹介します。

## 今回お話しいただく方

ゆず 様  
30代  
会社員  
重度難聴



ロジャーをお使いになる前に何かお困りのことはありましたか。

職場の病院において、他の職員や患者さんの言葉を聞き取りづらいという課題を抱えていました。例えば室内で別の方がナースコールなどで会話されていると、自分が聞き取りたい話の内容が聞き取れず、理解できないことが多くありました。

また、カンファレンスにおいて誰が何を話しているか分からないこともよくありました。終了時間までボーっとして過ごすしかなく、疎外感も感じていました。内容は後で他の方から教えていただきましたが、正確に意思疎通できないこともしばしばあり、聞き取れていないと雑用業務を任せられたり、残念ながら職員に無視されてしまうこともありました。当時は同僚に頼ることが多かったので、周囲の負担が重かったと思います。



聞こえやすさはロジャーを使うことで改善されましたか。

カンファレンスでロジャーを置くと人の声の位置が分かるので、口話がしやすくなりました。現在は、普段の生活でもロジャーを使用して口話をしています。ロジャーを使うとSN比が改善され、話者の声の雰囲気を感じやすくなるので口話がしやすくなります。職場においても、職員が話し方を意識してくれるので聞き取りやすく、疎外感を感じることがなくなりました。同時に、リアルタイムで患者さんの情報や話し合いの内容を理解しやすくなったので意見を言えるようになり、患者さんや同僚との会話も増え、職場の雰囲気が良くなった気がします。

私の職場では患者さんから話しかけてくださる機会が多いのですが、以前は聞き取れずに聞き流してしまうこともよくありました。ロジャーを使用するようになってからは会話を通して患者さんとの距離が近づき、出勤すると気軽に話しかけられることが増えました。最近は恋バナもするんですよ（笑）。会話を通して笑顔が増えたので、ストレス緩和にもつながっている気がします。

会話が  
増えた

心の  
距離改善

**PHONAK**  
life is on

ロジャーを使用される時に、特に便利に思われるのはどのような時でしょうか。

何と言っても、カンファレンス時の聞き取りにおいて一番役立っています。ロジャーを使用する以前は、聞き取りができていないために内容を理解しておらず、他の職員から叱責されてしまうことがしょっちゅうありました。最近のカンファレンスでは、ロジャーと音声文字化アプリを同時に使用することで理解を深めています。自分で内容を理解できるようになってから、例えば場を和ませようと職員がジョークを言う場面を発見するなど、職員や患者さんの新たな一面を見ることができ、私自身の接し方にも変化が起こりつつあります。

ロジャーを使うようになってから社会の一員としての実感が芽生え、会話を雑音と感じたり、社会活動で疎外感を感じる事が無くなり、日々楽しくお仕事ができることに喜びを感じます。

会議で  
活躍

社会参加の  
喜び

こういう使い方に気を付けた方が良い、こういう時に不便だったという例はありますか。

天井が高めの部屋や空調の近くでロジャーを使うと、少し聞こえが悪くなってしまう。

どのような方にロジャーをおすすめしますか。

学生から社会人まで、仕事で会議等への参加が必要な方におすすめです。ロジャー ペンにキャラクターやネイルシールを貼るなど工夫すると、周囲の方と話すときに話題となって楽しいですよ。補聴器もチャームをつけたりアレンジしていくと話題になるのでおすすめです。

会話が  
ひろがる

その他、ロジャーの購入を悩んでいる方へのメッセージなどありますか。

会議など言葉の聞き取りが必要な場面が多い方にはロジャーがとても役立つと思います。UD トーク（音声文字化アプリ）と併用すると、さらに内容が掴みやすくなり便利です。



ソノヴァ・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田5-2-4  
レキシントン・プラザ西五反田

電話: 0120-06-4079 (受付時間:月~金 9:00~17:30 土日祝休み)

Email: lifeison.jp@phonak.com

www.phonak.com/jp/ja

聞こえのお役立ち情報なら

きこえのブログ by フォナック  
kikoeblog.jp

